

令和7年適性検査

第 1 時 限 問 題

適性検査 I

検査時間 9時40分から10時25分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (1) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (2) 「解答始め」という指示で、すぐこの表紙に受検番号を書きなさい。続いて、解答用紙に氏名と受検番号を書き、受検番号についてはマークらんもぬりつぶしなさい。
- (3) 問題は1ページから18ページまであります。表紙の裏と18ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、足りないページがある場合は、静かに手を挙げて申し出なさい。
- (4) 余白や白紙のページは、計算などに使ってもよろしい。
- (5) 答えは全て解答用紙のマークらんをぬりつぶしなさい。
- (6) 印刷の文字が見にくいときは、静かに手を挙げて質問してもよろしい。なお、問題の内容について質問することはできません。
- (7) 「解答やめ」という指示で、解答することをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

1 たかしさんは、^(じゆう)年中行事^{ねんちゆうぎようじ}について学習しました。あとの問いに答えなさい。

(1) 年中行事がさかんに行われるようになった平安時代と関わりの深い文として適当なものを、次のアからキまでの中から二つ選びなさい。

ただし、マークらは1行につき一つだけぬりつぶします。

ア 食べ物をにたり、たくわえたりするために^{なわめ}縄目^{もよう}の模様^{なわめ}のついた土器^{もよう}を使用していた。

イ 仏教^{じゆきよう}や儒教^{じゆきよう}が伝わる前の日本人の考え方を研究しようとする国学が広がった。

ウ ^{しよいんづくり}書院造^{しよいんづくり}の広まりとともに、^{すいぼくが}ふすまやかけじく^{すいぼくが}に水墨画^{すいぼくが}がえがかれるようになった。

エ ^{じゆうにひとえ}十二単^{じゆうにひとえ}を着た女性など当時のくらしや風景などをえがく^{やまとえ}大和絵^{やまとえ}の技法^{やまとえ}が生まれた。

オ 東海道の名所^{かぶきやくしや}や歌舞伎役者^{かぶきやくしや}を題材に、^{うきよえ}浮世絵^{うきよえ}がえがかれるようになった。

カ 茶を飲む習慣が広まり、茶を飲むための茶室もつくられるようになった。

キ 漢字をくずしてひらがながつづられ、漢字の一部を省略してかたかながつづられた。

(2) たかしさんは、現在まで受けつがれている年中行事のうち、身近なものを次の【表】にまとめました。【表】の(②)と(③)に当てはまる行事を、あとのアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

ただし、アからエまでの行事を全て1度ずつ用いて、(①)から(④)までに当てはめることとします。

【表】たかしさんがまとめた「年中行事カレンダー」

年中行事カレンダー			
1月	正月、 ^{ななくさ} 七草がゆ	7月	(③)、 ^{しんぼん} 新盆
2月	(①)	8月	^{きゆうぼん} 旧盆
3月	(②)	9月	^{ちようよう} 重陽 ^{せつく} の節句、(④)
4月	花見	11月	^{しちごさん} 七五三
5月	^{たんご} 端午 ^{せつく} の節句	12月	大みそか

ア ^{たなばた}七夕

イ 月見

ウ ^{もも}桃^{せつく}の節句

エ 節分

(3) たかしさんとひろきさんは、端午の節句について先生と話しています。次の【会話】を読んで、あとの①と②の問いに答えなさい。

【会話】

先生：端午の節句といえば、どんなことを思いうかべますか。

たかしさん：こいのぼりです。5年生のときに「こいのぼり」という曲を歌いました。

ひろきさん：ぼくは、よろいやかぶとを思いうかべます。

先生：どちらとも、端午の節句を代表するものですね。他にもさまざまな風習があります。『枕草子』を読むと、現在まで受けつがれている端午の節句の風習について書かれた部分があります。どんなことが書かれているか読んでみましょう。

① 次の楽譜は、「こいのぼり」の一部です。この曲は4分の4拍子です。AとBに当てはまる音符の種類を、あとのアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

なお、同じ記号を2度用いてもよいこととします。



た か く おーよーぐ や こ いー の ぼ り



- ② 先生は、次の【文章1】をたかしさんたちにしょうかいしました。【文章1】の内容に合う資料として最も適当なものを、あとのアからエまでの中から一つ選びなさい。

【文章1】『枕草子』にある端午の節句の風習

〈原文〉

菖蒲、蓬などのかをりあひたる、いみじうをかし。九重の御殿の上をはじめて、いひしらぬ民の住家まで、いかでわがもとにしげく葺かんと葺きわたしたる、なほいとめづらし。

〈意味〉

菖蒲や蓬などの香りが混ざり合っにおうのは、ともしみじみとした味わいがある。天皇のお住まいの上をはじめとして、名も知られない民の家まで、なんとかして自分のところにも多く菖蒲や蓬を葺きわたそうとしているのは、またとてもすばらしい。

- (注) ○ 菖蒲＝サトイモ科の植物。
○ 蓬＝キク科の植物。

ア 菖蒲まげ

菖蒲まげの写真

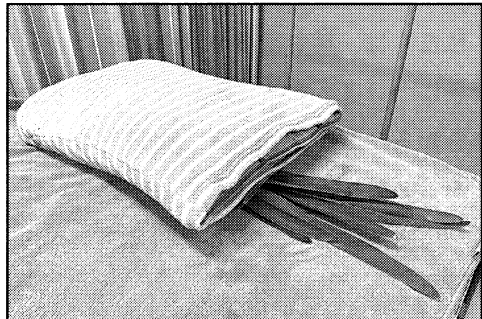
イ 軒菖蒲

軒菖蒲の写真

ウ 菖蒲湯

菖蒲湯の写真

エ 菖蒲枕



- (4) たかしさんは、年中行事について書かれた次の【文章2】を読み、内容を整理するために、次のページの【まとめ】を作りました。たかしさんが書いた【まとめ】についての説明として適当でないものを、あとのアからエまでの中から一つ選びなさい。

【文章2】年中行事について書かれた文章

春になると桜の木を見ながら食事を楽しむ花見のように、毎年決まった時期に行う行事のことを「年中行事」といいます。^{わたし}私たちの1年は、さまざまな年中行事でいろどられています。それらは、私たちの祖先が長い年月をかけてつくり上げ、大切に受けつがれてきた文化です。しかし、あまり身近に感じていない人もいるかもしれません。そもそも年中行事とはどのようなものなのでしょうか。そして、私たちは年中行事とどのように向き合っていけばよいのでしょうか。

日本は四季にめぐまれた自然豊かな国です。人々は、古くから自然のさまざまなものに神様が宿ると信じていました。そして、自然に生かされていることに感謝するとともに、病気や不幸なことが起きないように^{いの}祈りながら生活してきました。

例えば花見は、もとは豊作を願う行事でした。一説によると、「サクラ」の「サ」は「田の神様」を、「クラ」は「神様のすわる場所」を表すそうです。桜の木の下でごちそうを食べるのは、田の神様をむかえ、その年の豊作を願うためだったといわれています。そして、秋には無事に^{しゅうかく}収穫できたことを祝い、神様への感謝の気持ちを表すために、秋祭りが行われるようになりました。

また、七五三のように、人生の節目を祝う行事も行われるようになりました。昔は現代のように^{いりよう}医療が発達していません。病気やけがに対する心配や健康への願いは、現代よりも強かったはずです。だから、子どもが無事に人生の節目をむかえることができたときには、それまでの成長を祝うとともに、いっそうのすこやかな成長を祈るようになりました。

このような、自然に対する感謝の気持ちや、健康に暮らしたいという祈りをかたちにしたものが年中行事です。それは生きていることをあたりまえとせず、そのありがたみを感じながら生きていこうとする思いの表れでもあります。人々は、このような思いを大切にしながら、年中行事を受けついできました。

私たちは、年中行事を次の世代につなげていく立場にあります。まずは、興味をもった年中行事について、家族に聞いたり、本を読んだりして調べ、一つ一つの年中行事にこめられた意味を知ることが大切です。七草がゆや^{ぼんおど}盆踊りにも、受けつがれてきた意味があります。それらを知ることで、年中行事がより味わい深いものとなり、歴史ある文化としての^{かち}価値を感じるようになると思います。

【まとめ】

毎年決まった時期に行う行事を「年中行事」という。それは、私たちの祖先が長い年月をかけてつくり上げ、大切に受けつがれてきた文化であり、自然に対して収穫を感謝する気持ちや、子どものすこやかな成長などの、健康に暮らしたいという祈りをかたちにしたものである。また、それは生きていることをあたりまえとせず、そのありがたみを感じながら生きていこうとする思いの表れでもある。私たちは、年中行事を次の世代につなげていく立場にある。まずは、興味をもった年中行事について調べ、そこにこめられた意味を知ること、歴史ある文化としての年中行事の価値を感じることができるようになる。

ア 筆者が示した問いに対する答えの内容を中心に、この文章で伝えようとしている筆者の考えがはっきりとわかるようにまとめている。

イ 年中行事が行われるようになった背景^{はいけい}や、祖先が年中行事にこめた思いについては、具体的な例を省略^{かんげつ}して簡潔にまとめている。

ウ はなれたところにある文と文をつなぎ合わせたり、指し示す言葉やつなぐ言葉を適切に使ったりすることで、短くても要点をとらえた文章になっている。

エ 全ての段落^{だんらく}から、筆者の考えが述べられている文をそれぞれぬき出すことで、この文章で筆者の伝えたいことが明確になっている。

- 2 ひろきさんとはるなさんの学級では、メダカを水槽で飼育しています。次の【会話1】を読んで、あとの問いに答えなさい。

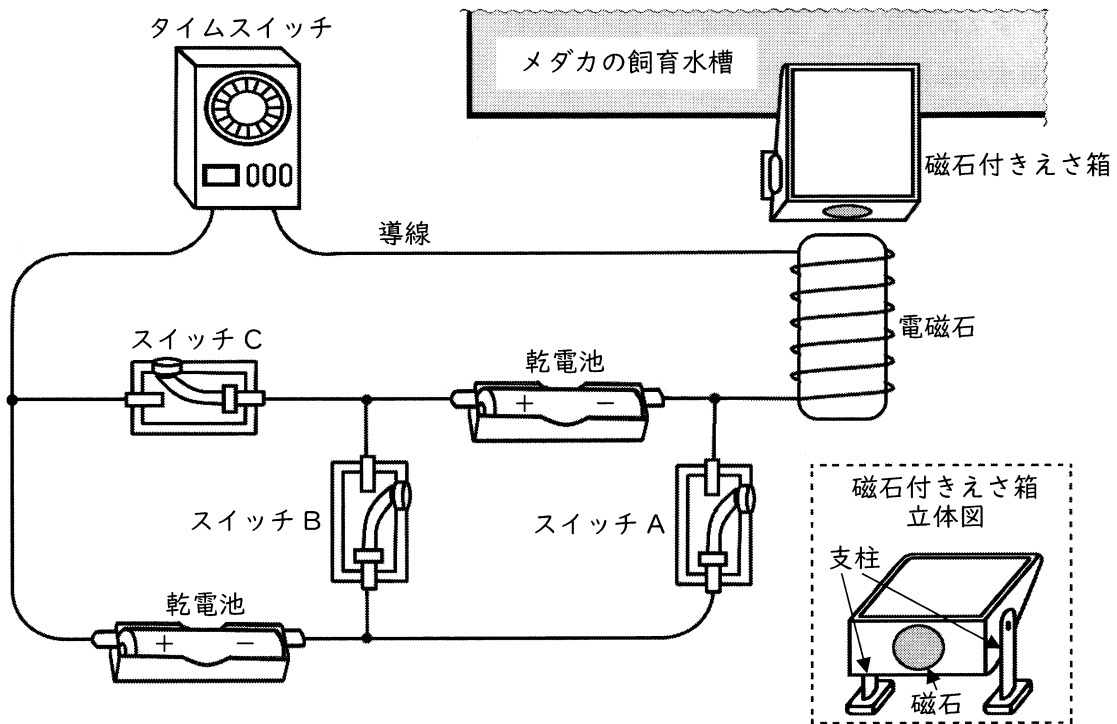
【会話1】

ひろきさん：メダカにえさをあげるときには、どれくらいの量がいいのかな。
 はるなさん：メダカが2分から3分で食べ切れる量をあげるといいね。食べ残しが出ると、水槽の水がよごれてしまうんだよ。
 ひろきさん：一度にたくさんえさをあげずに、毎日えさをあげないといけないんだね。
 はるなさん：でも、週末はどうしよう。家にメダカを持ち帰ると、弱らないか心配だよな。
 ひろきさん：えさを自動であげられるといいね。〈えさやり機〉を作ってみようか。

- (1) ひろきさんとはるなさんは、^{てんじしやく}電磁石を利用して作った〈えさやり機〉を動かしました。次のページの【結果】の(①)から(⑤)までに当てはまる記号および語句の組み合わせとして最も適当なものを、あとの表のAからKまでの中から一つ選びなさい。

なお、次の【図1】は、〈えさやり機〉の回路と仕組みを示しています。^{かんてんち}乾電池、スイッチ、タイムスイッチ、電磁石は導線でつながっています。磁石付きえさ箱は支柱で支えられており、回転するようになっています。そして、電磁石と磁石が^{しりぞ}退け合い、えさ箱がかたむくことで、えさを飼育水槽に落とします。乾電池は2個とも新品を使用しています。

【図1】〈えさやり機〉の回路と仕組み



(注) ○ タイムスイッチ＝設定した時間になると自動的に回路をつなげて電流を流す装置。

【結果】

- ・スイッチ A のみを入れると、磁石付きえさ箱が少しかたむいた。スイッチ A のみを入れたときと同じだけかたむいたのは、スイッチ（ ① ）のみを入れたときだった。
- ・スイッチ A とスイッチ（ ② ）を両方入れると、スイッチ A のみを入れたときと同じだけかたむいた。2個の乾電池は（ ③ ）つなぎとなっていた。
- ・スイッチ（ ④ ）のみを入れると、大きくかたむいた。2個の乾電池は（ ⑤ ）つなぎとなっていた。

（注1） スイッチを入れると、回路がつながります。

（注2） タイムスイッチは常に入れてあります。

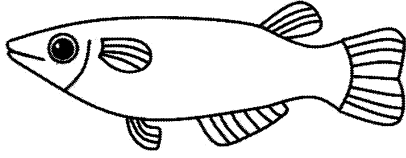
	①	②	③	④	⑤
ア	C	C	^{へいれつ} 並列	B	直列
イ	C	B	並列	B	直列
ウ	B	C	並列	C	直列
エ	B	B	並列	B	直列
オ	C	C	直列	B	並列
カ	C	B	直列	C	並列
キ	B	C	直列	C	並列
ク	B	B	直列	C	並列

(2) メダカを飼育してしばらくすると、めすが^{たまご}卵を産み、その後、子メダカが^{たんじょう}誕生しました。ひろきさんとはるなさんは観察してわかったことをそれぞれまとめました。

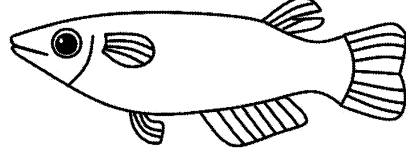
次の【ひろきさんのまとめ】と【はるなさんのまとめ】の(①)から(④)までに当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、あとの表のアからクまでの中から一つ選びなさい。

【ひろきさんのまとめ】

<体のつくり>
 (①) の体



(②) の体

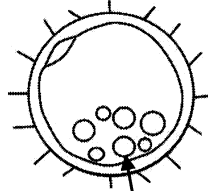


<おすとめすの役割>
 おすは、せびれとしりびれをめすに^ま巻きつけていた。めすは卵を産み、おすは精子を出すことがわかった。

【はるなさんのまとめ】

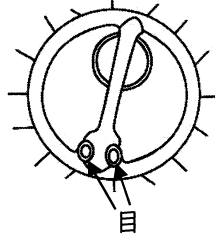
<卵の中の変化>

0日目



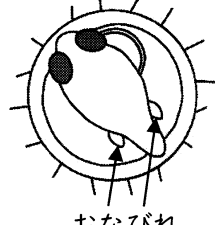
あわのようなもの

2日目



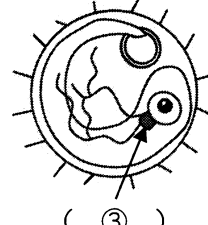
目

3日目



むなびれ

7日目



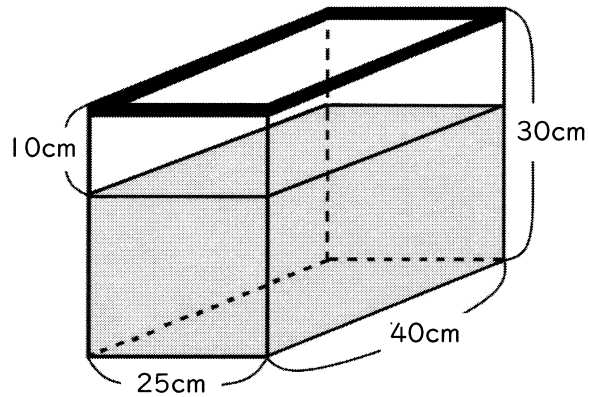
(③)

(④) すると、卵の中で少しずつメダカの体ができることがわかった。その後、11日目に子メダカが誕生した。

	①	②	③	④
ア	おす	めす	^{しんぞう} 心臓	^{さんらん} 産卵
イ	おす	めす	心臓	受精
ウ	おす	めす	^{はい} 肺	産卵
エ	おす	めす	肺	受精
オ	めす	おす	心臓	産卵
カ	めす	おす	心臓	受精
キ	めす	おす	肺	産卵
ク	めす	おす	肺	受精

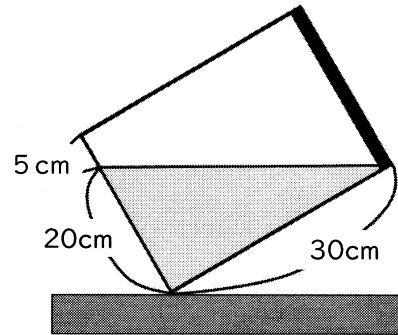
(3) ひろきさんとはるなさんは、水槽の水かえのために、次の【図2】の水槽の水を、今ある水の半分まで減らしたいと考えています。水槽をかたむけて【図3】のようになるまで水を流した後、さらにぬかなければならない水の量を、あとのアからクまでの中から一つ選びなさい。ただし、この水槽は直方体で、水槽の厚みは考えないものとします。

【図2】



水槽の上から10cmの位置
までは、水は入っていない。

【図3】



水平な台の上に水槽を置き、
水を流した。

ア 50cm^3

イ 300cm^3

ウ 2000cm^3

エ 5000cm^3

オ 6000cm^3

カ 8000cm^3

キ 10000cm^3

ク 12000cm^3

- (4) ひろきさんとはるなさんが学校の近くの池を調べたところ、メダカは見つかりませんでした。以前はいたそうなので、どうして見つからなくなったのかを考えています。次の【資料】は、理科室に掲示されているパンフレットです。また、次のページの【会話2】は、【資料】を見た後のひろきさんとはるなさんの会話です。【会話2】の（ C ）と（ E ）に当てはまる言葉として最も適当なものを、あとのアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。
- ただし、アからカまでの言葉を全て1度ずつ用いて、（ A ）から（ F ）までに当てはめることとします。

【資料】パンフレット



日本にもとからある水草が^お生いしげり、その水草にヤゴやゲンゴロウなどの水生昆虫や小魚などがすみついている。水は水草が^{じようか}浄化するのですき通っている。

水草や動物が^{すがた}姿を消し、^{しよくもつれんさ}食物連鎖や栄養分の分解などのサイクルがくずれて水質が悪化する。そして、水がどんどんにごっていく。



人間が池にアメリカザリガニを^す捨てる。

アメリカザリガニが水草を切って食べてしまう。

水草をすみかにしていた水生昆虫や小魚などがえいきょうを受ける。

すみかを失った生物がどんどん食べられていく。

カモなどの水鳥も来なくなり、生物の多様性が失われる。

(注) ○ サイクル=自然界でくり返し起こること。

(^{かんきようしやう}環境省ウェブページをもとに作成)

【会話2】

ひろきさん：アメリカザリガニは、2023年6月1日から、^{じようけんつきとくていがいらいせいぶつ}条件付特定外来生物に指定されたよ。パンフレットはそのときのものだね。

はるなさん：(A) よね。

ひろきさん：そうだね。外国や別の^{ちいき}地域から人間が連れて来た生物なんだ。(B) と、もともといる生物に悪いえいきょうをあたえることがあるんだね。

はるなさん：アメリカザリガニが池に入ると、大変なことになるね。

ひろきさん：生えている水草を切って食べたり、水生昆虫や小魚などを食べたりしてしまうよ。そうすると、水草や水生昆虫などをえさとしていた水鳥なども来なくなって(C) なんだね。そして、食物連鎖や栄養分の分解などのサイクルがくずれてしまうよ。

はるなさん：サイクルがくずれると、(D) なんだね。

ひろきさん：アメリカザリガニが池に入ると、良いことはないね。

はるなさん：でも、(E) ことは、そんなに悪いことなのかな。アメリカザリガニは、ただくらしているだけだともいえるけど。

ひろきさん：確かに、アメリカザリガニは、新しい場所で生き残ろうとしているだけだね。もともといなかったアメリカザリガニを捨てた^{わたし}私たちの行動が問題なんだね。

はるなさん：(F) 環境を目指して、私たちは行動しないといけないね。いつか、メダカが元気に泳いでいるのが見える池にもどせるといいね。

ア そうした生物が新しい場所ですみ始める

イ 池の生物の多様性が失われてしまう

ウ 人間だけでなくいろいろな生物にとってもすみやすい

エ 水質が悪化して水がどんどんにごっていく

オ 外来生物というのはもともとその場所にいなかった生物だ

カ 生きるために水草を切って食べたり、水生昆虫や小魚などをつかまえたりする

3 しおりさんが通っている小学校では、リレー大会が行われます。このリレー大会は、学校の近くにある陸上競技場を借りて、1周400mのトラックを使って行われます。

しおりさんは、同じ6年生のゆうとさん、5年生のそうまさんとなつみさん、4年生のかりんさんとなつやさんとチームを組み、リレー大会に参加することにしました。あとの問いに答えなさい。

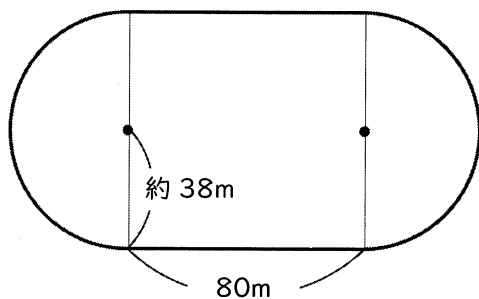
(1) 次の【資料1】は、リレー大会が行われる陸上競技場のトラックやレーンについて説明したものです。【資料1】を読んで、あとの①と②の問いに答えなさい。

【資料1】

陸上競技場のトラックとレーン

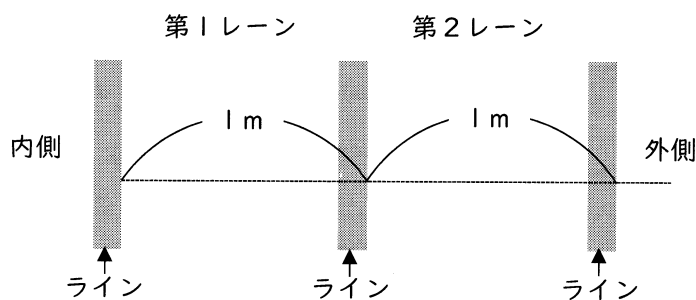
- 第1レーン（最も内側のレーン）のトラックは1周400mです。
- スタートからフィニッシュまで、同じレーンの中を走り続けます。フィニッシュラインはどのレーンも第1レーンのスタートラインと同じ位置ですが、どのレーンも走るきよりが同じになるように、スタートラインの位置は外側のレーンにいくほど先にあります。
- 第1レーンのトラック、レーンのはばは、下の図のとおりです。

〈第1レーンのトラック〉



この陸上競技場のトラックは円を半分にしたものと長方形を組み合わせた形です。

〈レーンのはば〉



この陸上競技場のトラックのレーンのはばは、1mです。レーンのはばに、内側のラインのはばは、ふくめません。外側のラインのはばは、ふくめます。

- ① しおりさんは、リレー大会で自分たちが走るレーンのスタートラインの位置が、第1レーンのスタートラインの位置に対して何m先にあるのかが気になり、ゆうとさんに質問しました。ゆうとさんは、【資料1】をもとに説明しました。次の【ゆうとさんの説明】を読んで、リレー大会でしおりさんたちが走るレーンを、あとのアからカまでの中から一つ選びなさい。
- ただし、陸上競技場には、第1レーンから第8レーンまであり、しおりさんたちのリレーチームが走るレーンは、第1レーンと第8レーンではないこととします。

【ゆうとさんの説明】

半径を 38m、円周率を 3.14 として計算すると、トラック1周の長さやスタート位置の差は、実際のものに近いものが求められる。

第1レーンのトラック1周の長さは、 $160+76\times 3.14$ を計算して 398.64m。ぼくたちが走るレーンのトラック1周の長さは、 $160+82\times 3.14$ を計算して 417.48m。

つまり、トラック1周の長さの差は 18.84m になる。よって、ぼくたちが走るレーンのスタートラインの位置は、第1レーンのスタートラインの位置に対して、約 19m 先にあることがわかる。

- ア 第2レーン イ 第3レーン ウ 第4レーン
- エ 第5レーン オ 第6レーン カ 第7レーン

- ② しおりさんは【ゆうとさんの説明】の後、第8レーンのスタートラインの位置が、自分たちが走るレーンのスタートラインの位置に対して何m先にあるのかを考えました。最も適当なものを、次のアからカまでの中から一つ選びなさい。

ただし、円の半径は 38m、円周率は 3.14 とし、小数第1位を^{ししや}四捨五入して^{がいすう}概数で答えることとします。

- ア 約3m イ 約13m ウ 約25m
- エ 約31m オ 約44m カ 約47m

(2) 次の【資料2】は、リレー大会のルールを説明したものです。

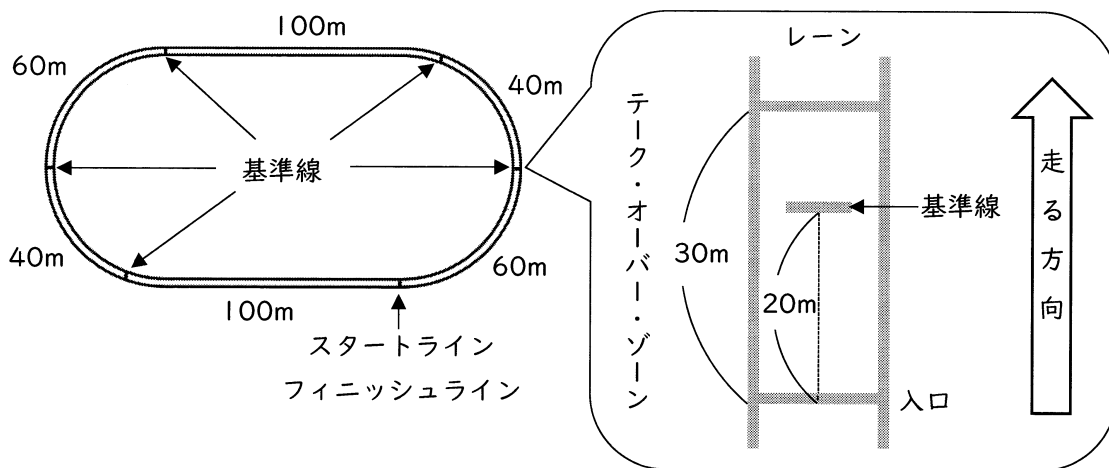
しおりさんたちは、このルールに従^{したが}って、リレー大会に向けて目標タイムを決めることにしました。【資料2】を読んで、あとの①と②の問いに答えなさい。

【資料2】

リレー大会のルール

- 4年生から6年生までそれぞれ2人ずつ、合計6人で1チームをつくります。
- 第1走者は5年生、第6走者は6年生が走ります。
- 走る順番は、同じ学年の児童が続かないようにしてください。
- どのレーンも、第1・4走者は60m、第2・5走者は40m、第3・6走者は100mの合計400mを6人で走ります。ただし、テーク・オーバー・ゾーン(30m)を使って、実際に走るきよりは工夫^{くふう}することができます。
- トラックには、〈図〉のように、60mや40m、100mの区切りを示す基準線をつけて、基準線の20m手前(スタートラインに近い線)を、テーク・オーバー・ゾーンの入口とします。

〈図〉 第1レーンのトラックの基準線とテーク・オーバー・ゾーン



※ 基準線の位置によって、レーンがカーブしている場合があります。

(注) ○ テーク・オーバー・ゾーン=バトンを受けわたすことができる^{はんい}範囲。

- ① しおりさんたちは、目標タイムを決めるために、走る順番を決めました。次の【会話1】はそのときの会話です。また、下の【表1】は、6人の50m走のタイムとスタートダッシュについてまとめたものです。【資料2】、【会話1】、【表1】を参考にして、第5走者に当てはまる人を、あとのアからカまでの中から一人選びなさい。

【会話1】

てつやさん：第3走者はテーク・オーバー・ゾーンをうまく使うと、6人の中で最も長いきょりを走ることができるね。

そうまさん：それを生かして、50m走のタイムが最も速い人を第3走者に入れたらいいね。

かりんさん：あと、いいスタートを切ることが大切だと先生が言っていたよ。

なつみさん：それなら、第1走者はスタートダッシュが得意な人にしようか。

しおりさん：みんなの意見を参考にして走る順番を考えてみたよ。

ゆうとさん：しおりさんの考えた走る順番は、そうまさんとなつみさんの意見が取り入れられているね。

かりんさん：前半の3人と後半の3人の50m走のタイムの合計が同じだね。

てつやさん：どこを見ても、続けて走る3人は全員学年がちがうね。

しおりさん：私^{わたし}もかりんさんとてつやさんの言っていることに今気づいたよ。

ゆうとさん：しおりさんが考えた走る順番でいいね。

【表1】50m走のタイムとスタートダッシュについてまとめたもの

学年	名前	50m走のタイム(秒)	スタートダッシュ
6年	しおり	8.5	得意
	ゆうと	8.1	得意
5年	そうま	8.9	苦手
	なつみ	8.9	得意
4年	かりん	9.7	苦手
	てつや	9.3	得意

ア しおりさん

イ ゆうとさん

ウ そうまさん

エ なつみさん

オ かりんさん

カ てつやさん

② しおりさんたちは、①で考えた走る順番をもとに、次の【会話2】のように目標タイムを決めました。【資料2】、【表1】、【会話2】を参考にして、しおりさんたちが決めた目標タイムとして最も適当なものを、下のアからエまでの中から一つ選びなさい。

なお、あとの【表2】は問題を考えるために使ってもよいこととします。

【会話2】

ゆうとさん：目標タイムは、50m 走のタイムを使って最速のものになるようにしよう。目標タイムを考えるとときには、助走による加速や減速、バトンパスの技術のちがいは考えなくていいと先生から聞いたよ。

しおりさん：走る順番の前後で50m 走のタイムが速い人の方が、テーク・オーバー・ゾーンを使って、できるだけ長いきよりになるようにしよう。

かりんさん：この方法なら、第3走者のきよりは130mになるね。

てつやさん：でも、走るきよりが10mの人もあるよ。10mは短すぎないかな。

そうまさん：今は目標タイムを決めるだけだから、実際に走るきよりは練習しながら調整することにしようよ。

なつみさん：それぞれのきよりが決まると、50m 走のタイムをもとにそのきよりに対するタイムも決まって、全体のタイムを出すことができるね。

ゆうとさん：この全体のタイムは最速のものになるから、目標タイムにしよう。

ア 67.5 秒

イ 68.4 秒

ウ 69.8 秒

エ 70.2 秒

【表2】

走る順番	名前	50m 走のタイム(秒)	きより(m)	きよりに対するタイム (秒)
1				
2				
3			130	
4				
5				
6				
合計			400	

(3) しおりさんたちは、練習をした後、バトンパスについて話し合いました。次の【会話3】の (A)、(B)、(E) に当てはまる内容として最も適当なものを、あとのアからカまでのの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

ただし、アからカまでの内容を全て1度ずつ用いて、(A) から (F) までに当てはめることとします。

【会話3】

しおりさん：次の走者が、前の走者が来る直前まで待ちすぎて、バトンを受けわたすときに、2人の間隔がきゅうくつになっていたよね。
そうまさん：次の走者が、走り出すのが早すぎるときもあったよ。そのときは、次の走者が途中でスピードをゆるめて、前の走者が来るのを待っていたね。
ゆうとさん：(A)。
てつやさん：おそすぎても早すぎてもよくないし、何かよい解決方法はないかな。
かりんさん：バトンの受けわたして手を出すタイミングが合わないのはどうしようか。
なつみさん：次の走者が、バトンを受け取るときに後ろを向くのはどうかな。
そうまさん：(B)。
てつやさん：手を出すタイミングを合わせる方法は他にはないのかな。
ゆうとさん：(C)。そのことは後で考えよう。
かりんさん：練習の時に撮影した動画を見ると、何かわかるかもしれないね。
しおりさん：動画を見ると、みんな走り出すタイミングが毎回ばらばらなのがわかるね。
そうまさん：それなら、前の走者がここまで来たら走り出すという、目安になるポイントが、はっきりわかるようにすればいいと思う。
なつみさん：(D)。
かりんさん：練習のたびに、それを置く場所を調整できるから便利だね。
てつやさん：これでバトンパスはうまくいきそうだね。さっそく練習してみよう。
しおりさん：(E)。
ゆうとさん：いくら次の走者がタイミングよく走り出しても、バトンの受けわたしができないと、バトンパスは成立しないからね。
そうまさん：前の走者が、バトンをわたしたいタイミングを次の走者に伝えられると、手を出すタイミングが合うようになると思う。
しおりさん：(F)。
かりんさん：それなら、次の走者も、前を向いて走りながら、バトンを受け取る手を出すことができそうだね。

ア でも、次の走者が後ろを向いてバトンを受け取ると、スピードに乗ることができなくなってしまうよ

イ ちょっと待って。まず考えたいのは、次の走者が走り出すタイミングだよ

ウ 前の走者がバトンを受けわたすときに、「はい」って大きな声で合図を出すのはどうかな

エ その前に、バトンの受けわたして手を出すタイミングの問題も解決した方がいいと思う

オ 次の走者が走り出すタイミングが問題ということだね

カ コーンを置いて、目印にするのはどうかな

- (4) ゆうとさんは、学校の近くにある陸上競技場が整備されているのは、「スポーツ基本法」で県や市町村がスポーツ施設しせつの整備をすることを定めているからだとなりました。法律ほうりつに関心をもったゆうとさんは、日本で法律ができるまでについて調べ、主な内容をまとめました。次の【ゆうとさんのまとめ】に付け加える内容として最も適当なものを、あとのアからエまでの中から一つ選びなさい。

【ゆうとさんのまとめ】

法律は国会でつくる。国会は、法律をつくるただ一つの機関であると定められている。国会には衆議院しゅうぎいんと参議院さんぎいんがあり、内閣ないかくや国会議員から出された法律案について、法律とすべきかどうかを国会議員が話し合い、決定する。決まった法律は、天皇により公布される。

ア 国会が法律をつくるただ一つの機関であると定めているのは、日本国憲法にほんこくけんぽうである。

イ すべての法律案は、まず衆議院で話し合い、次に参議院で話し合う。

ウ 法律とすべきか最終的に決定するのは、内閣総理大臣ないかくそうりだいじんである。

エ 法律が日本国憲法いほんに違反していないか、調べたり判断したりするのは、内閣である。

(問題はこれで終わりです。)